

第56回 エフエム伊東 番組審議委員会

議事録

<p>会議場所</p>	<p>伊東ふれあいセンター3階 多目的ホール</p>	<p>日時</p>	<p>令和7年2月28日(金) 19:00~20:00</p>
<p>出席者</p>	<p>山下明子・土屋由美子・片山智幸 各委員 稲葉雅之・山田毅・渡邊将・小川嘉洋・片山清香 各委員は文書で回答 放送事業者: 小柳代表・岩崎局長・池田編成局長・金指</p>		

【議事】

小柳代表取締役より挨拶、委員の紹介、現状説明があった。
事務局より、生放送番組について、その他活動について報告があった。

審議委員より意見、感想

*テーマ：生放送番組を含め、番組全体での内容や放送時間、また地域貢献などエフエムの役割や、番組の印象、営業施策について、気づいたこと

審議委員：

通勤の行き帰りで生放送を聴いている。

インフォメーションとして流れる「休・祝日の緊急当番医」は、平日には必要な情報ではないと思う。

ラジオは、音楽や情報が主であるが、地域の情報だけでなく、田畑先生が行っている番組の「筋肉がつく」などの健康情報もとても役に立つ。

審議委員：

立地の関係や家の構造上もあると思うが、冬場、窓を開けても聞こえにくい。

ガラケーなので、アプリでは聞けない。

審議委員：

朝や、土日祝の午前中、「Driving Navi」の後半を特に聴いている。

12月開催された駅前三島信用金庫跡地のイベントは、中継をはさまれて、車の中で聴いていても、賑わいがわかりとても興味をそそられた。イベントがここで実施されているという情報に楽しさも伝わる。

審議委員：

伊東自然歴史案内人として、秋祭りや御神輿の情報など、生電話でワクワクしながら伝えたこともある。1月に開催される「伊東温泉めちゃくちゃ市」など、朝の生放送の番組で中継して、聴いている方たちがこれから行きたい・行けると思える時間だといい。

FM伊東事務局:

当番医の情報は行政からの依頼でもある。

ラジオの電波は市街地は大分入るようになってきているが、まだ入りづらい場所もある。イベントの中継に出ると、「エフエム伊東」がやっているとわかってもらえる。

町のお祭りなども、今後実施を検討したい。

生放送の時間は現在、7:30~9:00、11:00~13:00、17:30~18:30であるが、この時間帯はどうか?

審議委員:

朝の生放送は、出勤しながら聴いていると思うので、新しい情報があるとよい。

夕方の時間帯は、長いとも短いとも思わず、ちょうどよいと思う。

審議委員:

お昼の時間帯は、仕事をしている人はなかなか聴ける時間帯ではない。

FM伊東事務局:

リスナーさんのリクエストやメッセージも、お昼休みになると入ることが多い。

お昼を長めにというリスナーさんもいますが、パーソナリティーの負担と費用面で、1時間におさめている。

審議委員(書面)

観光客にとって魅力ある街並みを考えるとき、中途半端に開発するより古さを保存しレトロ感を出そうとするように、放送全体に「オワコン感」を特徴として醸し出すなどできないだろうか。

審議委員:

テレビ等を見ても、今が忙しすぎるので、ゆったりするものを求めているような気がする。伊東には気づかれていない古い町並みがある。銀座通りの三軒繋がる建物や、花もりさんの家屋など、特殊な建物は、いつ建てられたかなど取材して流してもよいのでは。

審議委員:

観光客の方たちなどに一番に紹介したいレトロ感を感じる場所は、東海館です。元旦の11:00に獅子舞をやっているが、観光客の方のチェックアウト時でもあり、たくさんのお客様が来訪される。入場も無料である。そういった取材も良いかもしれない。

FM伊東事務局:

懐かしい感じを取り入れていく。パーソナリティーも若くなっているので、レトロ感を一緒に感じられるようなものを取り入れていきたい。

審議委員(書面)

魅力的な番組作りとして、「めちゃめちゃ当たる占い!」や「人生相談」などがあっても良い。周知活動や地道な営業も必要。

審議委員:

悩み募集をして、回答を出さず、言っぱなしというものでも良いと思う。
「こんなはずではなかった」という人もけっこういるように思う。

FM伊東事務局:

言いたいことを言うコーナーがあっても面白い。伊東は控えめな方が多いが、県外の方がメッセージが多い。

審議委員(書面)

CMに関しては、インパクトがないというのが率直な感想です。どのCMも同じような声色なので、印象が薄い。例えば、男性、大勢、子供など、多彩に声のでいたら楽しいかもしれない。予算的な問題であるなら、ボランティアとかを募るのも良い。スポンサーのお子さん、お孫さん、親子とかも良さそう。

FM伊東事務局:

パーソナリティーが担当しているが、今はクライアントさんに直接来ていただき、その方たちに、CMを読んでいただいている。現場の方の生の声でもあるので、それぞれ特色が出てきている。

審議委員(書面)

地域密着の放送局として、地元の方をどんどん巻き込んで行ってほしいと思います。

例えば、市内にはいろいろなサークルがありますが(ダンスだったり手芸や詩吟など)、みなさん会員勧誘に苦労されているようですし、同種のサークル同士の横の繋がりもあまりなかったりするようです。その橋渡しをしていけばいずれイベント開催などにも繋がっていくのではないかと思います。また、伊東を訪れた方へ伊東の魅力を伝える、放送局としても、観光客にもアピールしていただけたらと思います。朝・昼・夕方の生放送番組は、生の良さがある楽しい放送です。

審議委員:

リタイヤ人たちも、何かやりたいと思っている人は多い。フラダンスや手芸など、会員募集をするとよい。ボランティアの会の会員募集もやって欲しい。ボランティアの会では伐採作業もしているので、中継などにも来て欲しい。

昔ラジオは深夜放送を聴いていた。テレビの時代になって、ラジオを聴く機会が、車の中だけと減ってきてしまった。今は、情報はとる時代になった。

審議委員:

朝、ラジオを聴いたかどうか情報が情報源だった。

FM伊東事務局:

今は、アプリでもラジオが聴ける時代になった。行政も観光情報を出している。

審議委員:

地元を離れている人たちも身近で聴けるなら、遠くで懐かしい言葉、方言なども親しみがあり、レトロ感も出せる。

審議委員(書面)

番組を問わず地元貢献は十分されていると思います。

番組収入の増加策としては、スポンサー獲得のための営業力強化が必要だと思います。

営業専任者は難しいと思うので、同じ商材を扱う会社と共同で営業専任者を雇うなど新たな手法を検討してはどうか。

FM伊東事務局:

生放送番組については、概ね時間帯・内容については、良いという意見をいただき、ありがとうございました。

いただいた意見を再度確認し、すぐにできることは行い、今後の番組編成の参考にさせていただきます。